レッスン：PYR58

テーマ：エレメンタルの様々なフォーム

PYR 58/KE07 No.5 12/06

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、そして火の子供達よ｡私たちは常に主、絶対、主の聖性によって包まれています。

　レッスンでは現在のパーソナリティーの大きなサイクル内での様々な法則について多く述べました。それらの法則はまた現在のパーソナリティーの小さなサイクルのなかにもあります。

　どれほどの法則があると思いますか？実際には多くの法則がありますが、しかし主なものは私たちが既に扱ったものです：現在のパーソナリティーが4つのエレメントをマスターする上で助けとなる法則、そして何であれ三面ピラミッドが意味するLifeからのものを現在のパーソナリティーに与える法則です。三面および四面は全てのサイクルに見いだされます。

　ですから、それら２つの法則があります。しかしまたもう一つの法則があり、それはパーソナリティーが５つの感覚に関してどちらを使用するかを述べる法則。パーソナリティーが実存の波動にいるときに使用している影としての感覚、そして真の五感は主にサイコノエティカル体が使用しています。

　さて主にサイコノエティカル体が使用すると言いましたが、それは肉体なしの現在のパーソナリティーです。つまり現在のパーソナリティーが寝ている時には５つの真の感覚を使います。勿論現在のパーソナリティーはそれに気づいておらず、それらの真の感覚を使用する代わりにパーソナリティーがあたかもこの実存の波動にいるかのようにそれらを使用し、真の感覚が提供するものを利用しません。いいですか、これは（＊真の感覚）パーソナリティーがこの波動にいる時でも起きているのです。しかし、パーソナリティーが空想や考えのなかでそれに気づかづに使用しています。

　ですから、そのパーソナリティーは肉体をマスターしてそれをコントロールしておらず、肉体なしの状態と肉体の中にいる状態の２つのステート、状態に橋を架けることができないのです。私たちにはまず星として象徴される法則があり；この実存の波動の中、つまり３次元の諸世界において、私たちには様々なタイプのピラミッドがあります。

　さて、現在のパーソナリティーが制限ある現れの中に入るのを助けた同じ法則が、今度は現在のパーソナリティーが無知の境界を取り除くのを助けるために使用されます。

　さて、実存の波動のなかにいる時、現在のパーソナリティーは二元性を使います…思考という二元性を。そして思考を使っている時、現在のパーソナリティーはエレメンタルを創造します。そして説明したように、２つの主なエレメンタルがあります：願望想念のそれと、想念願望のエレメンタルです。

　しかしレッスンで述べたように、願望想念のエレメンタルですら、最初はそこには想念のスパークがあります。想念の動きがなければ願望、気持の現れはありません。しかし願望想念のエレメンタルは大部分最初の2つのサイクルに属します。だからといって、3番目のサイクルにはそれらはないということではありせん。ほとんどの場合、3番目のサイクルの初めの頃にはそれらがあることがあります。

Page2

 それではそれらのエレメンタルの人々に対する影響はどうでしょうか？それらのエレメンタルは非常に大きな影響をもたらします。なぜなら、このステート（＊物質界）では現在のパーソナリティーは他の人々のエレメンタルに非常に近いレベルで震動しているからです。ですから、パーソナリティーは特定の環境からすらも大きな影響を受けます。そしてそれらのエレメンタルは時には闇のエレメンタルに分類できることさえあります；つまりそれらはそれを創造した人、及び他の人々にも多くの痛みをもたらすということです。

　想念願望に関しては、それらは大部分助けをもたらすエレメンタル、天使のエレメンタルに分類されます。

　2番目のサイクルに属しているパーソナリティーがそのようなエレメンタルを創造することが可能でしょうか？答えはイエスです。エクササイズを行うパーソナリティー、特に他の人々に助けを与えるエクササイズを行い、最初は機械的に助けを与えていても、それらのエレメンタルの背後には願望があります。徐々に他人を助けるという努力は自動的なものとなります。誰かが助けを必要としていると現在のパーソナリティーが認識するやいなや、助けが自動的に相手に与えられるでしょう…願望を抱くことなく。築かれるエレメンタルは助けを与えるエンジェルなのです。

　どのような助け、そしていかにしてその助けは与えられるのでしょうか？2番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーは他の人の痛みを軽減するためにその人の痛みを背負うのでしょうか？何が起きるかというと、エンジェルとみなされたエレメンタルに、その痛みを背負う肉体と共に不可視のヘルパーが同調します。ですから、2番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーでもエンジェルを創造することができるのです。

　もちろん、それは3番目のサイクルでも続き、そこでは大部分のエレメンタルは想念願望のそれであり、つまりエンジェルです。

　4番目のサイクルでは何が起きるでしょうか？4番目のサイクルでもパーソナリティーは二元性を使用します。1番目のサイクルではパーソナリティーは本能意識的意識のセルフエピグノシスを現し；2番目のサイクルでは潜在意識的意識のセルフエピグノシスを；3番目のサイクルでは意識的意識のセルフエピグノシスを、そして4番目のサイクルでは超意識的意識のセルフエピグノシスです。

　4番目のサイクルでも現在のパーソナリティーは二元性を使い、その思考の結果としてそのパーソナリティーが築く全てのエレメンタルは想念願望のそれです…正しい思考が現されているからです。しかし、どのような正しい思考でしょうか？それはあるレベルの気づきの結果としての正しい思考、あるいはそれ以外の何らかの正しい思考でしょうか？その正しい思考とはLifeの本質から出てきた正しい思考です。そこでの原理は完全に異なっています、それらはLifeの原理であり、繰り返しますが4番目のサイクルにおいては、Lifeの本質による正しい思考です。

　ですから、これら2つの主なカテゴリーのエレメンタルがあります；願望想念のそれと想念願望のそれです。しかしまた、純粋な正しい思考のエレメンタルもあり、それらは4番目のサイクルで現されます。

　自己実現した現在のパーソナリティーによって創造されるエレメンタルはどうでしょうか、それらはどのようにして築かれるのでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティーはエレメンタルを気づくでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティーは、もし彼等がエレメンタルを築かない場合、どのようにして他の人々を助けるのでしょうか？

　前に述べましたが、パーソナリティーは二元性の結果として、思考の結果としてエレメンタルを築きます。自己実現した現在のパーソナリティーは自己実現のステートにいる間は、高次ノエティカル体を使用する間、思考を使いません。

　説明したように、高次ノエティカル体には1つのセンターしかなく、それはキリスト意識を意味するハートのセンターです。そのステートでは思考のためのノエティカル体、感情のためのサイキカル体などがなく、Lifeのスパークを意味する1つのセンターしかありません。それは意識を意味し、それはLifeです。そのLifeの現れの結果として、それを私は今、現在のパーソナリティーとは呼びませんが、それは二元性の結果としてエレメンタルを築くことはありませんが、しかし実際、神、ディバインのブレーシス（＊意志）の結果としてエレメンタルを物質化します。

　前に説明したように、その現れが転生のサイクルの中に留まり、そして現在のパーソナリティーを現していて、高次ノエティカル体が提供する全てがそこにあるのです、高次ノエティカル体が提供する能力と可能性を使用するためにサイコノエティカル体を背後に残し、高次ノエティカル体と共に自らを現す必要はないのです。そして“その体が提供するもの”と言う時、レッスンのなかで述べましたが、Lifeがその本質を完全に現すためには、その体は天人の体と同一でなければなりません。そして高次ノエティカル体は完全に天人の体と同じです。それはその体の形とフォームを保つ骨組みが完全に活性化されていることを意味し、その体が現在のパーソナリティーの内側にあるのです。

Page3

 永遠のアトムの中で、Lifeのスパークが現在のパーソナリティーを活性化し、また高次ノエティカル体は現在のパーソナリティーが自己実現に到達した時に（それはサイコノエティカル体が完全に再形成されることを意味します）それを使用することを待っています。繰り返しますが、現在のパーソナリティーの大きなサイクルがLifeの本質からどれだけ多くを現しているかを現すために、サイコノエティカル体を高次ノエティカル体から分離させる必要はありません。

　自己実現する、それは現在のパーソナリティーが大きなサイクルをマスターしたことを意味し、その大きなサイクルの中には私たちがこれまで話した5つの小さなサイクル全てがあります。

　ですから、自己実現した時には現在のパーソナリティーはエレメンタル、つまり助けを与えるためのエンジェルであるエレメンタルを物質化します。そしてそれらのエレメンタルが物質化された時、そこには目的があります：バランスをもたらすために何であれ原因結果の法則が現在のパーソナリティーに経験させようとしていることを、現在のパーソナリティーが経ることのないように助けることです。実際、それらのエレメンタルには、それらを物質化したLifeの現れによって与えられた意味があります。私たちはそれらを創造したとは言いません、それは創造ではなく、物質化です。そしてその物質化は聖霊的に築かれたものではなく；それはロゴス的な現れです。

　自己実現に到達したその人は自分のアークエンジェル的なヒポスタシスを現していますが、実際に全てのオーダーのアークエンジェルなのです。何であれ創造界の中で全てのアークエンジェルのオーダーがしていることを、人間であるそのアークエンジェルは行うことができるのです。なぜなら、そのセルフエピグノシスにはいかなる制限もないからです。それはプログラムされたセルフエピグノシスではありません。様々なアークエンジェルのオーダーはプログラムされたセルフエピグノシスであり、各オーダーは創造界において特別な仕事だけを行っています。

　ですから、自己実現した現在のパーソナリティーによって現されたエンジェルはLifeの現象の様々な王国、つまり動物界、植物界その他などを創造するアークエンジェルと非常に似ていますが、しかしまったく同じではありません。

　さて、だからといって自己実現した現在のパーソナリティーはどんな種類の動物でも築き、現すことができるのでしょうか？答えイエスであり、その動物はそれを現した人から生命を得ることができるのです。どのような生命でしょうか？アークエンジェル達が動物に与えているのとまったく同じものですが、しかし違いがあります；それは生の息吹ですが、その特定の動物はそれを現した人の全ての可能性と能力を現すことができるのです。

　それが主な違いです、なぜなら自己実現した現在のパーソナリティーによって現された動物にとって、そこには神、ディバインの目的がなくてはならず、その唯一の目的とは他の同胞の人間たちを助けることです。勿論、それは自己実現した現在のパーソナリティーが現すことのできる、Lifeの多重性の能力の拡大としての意識の拡大ではありません（そこでは自己実現した現在のパーソナリティーは自分の意識を同時に多くの同一体として投射することができ、そして各同一体は人々を助けるためにそれぞれ異なった仕事を行います）。実際、自己実現した現在のパーソナリティーはエレメンタルを現し、物質化することができ、それらのエレメンタルの波動を物質の波動のレベルまで下げ、それによって物質界で実際に触れることができ、人間がそれを見ることができるようにすることができるのです。

　さて、探究者としてあなた方は何を求め、目的とすべきでしょうか？あなた方は意識的に想念願望のエレメンタルを築くことを求めるべきです。そのために多くのワークが必要で、特にもっと意識的にエーテルの特質を練習し、使うのです。毎日、少なくとも他の同胞の人々を助けるエクササイズを1つはすべきであり、その結果、次第にそれが習慣となり、考えることなく自動的にそれを行うようになるでしょう。徐々にこの種のワークを習慣的にするようになりますが、しかし初めは機械的に行うかもしれませんが、後になると、考えることなしに自動的に、自然に行うようになるでしょう。大いに努力が必要ですが、しかし真剣な探究者なら達成することでしょう。

Page4

Q：もし自分自身助けが必要だと感じたら、他人ではなく自分自身に集中すべきですか？

K：勿論です。そのためには現在のパーソナリティーのための良い健康のエクササイズがあります。

Q：エクササイズのために、記憶したものに集中するために夢を使うことができますか？

K：あなたが思い出すべき唯一の夢は肯定的夢です。あなたを否定的にするような夢を見た場合には、忘れるようにしなさい。勿論、ポイントは穏やかな状態で眠りに入ること、笑顔と共に眠ることです。

Q：夢からメッセージを受け取ることができますか？

K：注意を向ける唯一の夢は肯定的な夢で、現在のパーソナリティーにとって真の価値のある夢です。

Q：つらい体験は役立たないのですか？

K：そうですが、しかし私たちは痛みを欲しません、痛みは避けるべきです。痛みを通して私たちは前進しますが、私たちは痛みを避けるべきです。なぜなら、レッスンで述べたことを繰り返しますが：あなた方一人一人は何であれディバインの黙想の目的を得ており、自分自身の個人性というものを持っており、神のワンネスの多重性からの分離性を認識しました。なぜなら、あなた方は多くの転生を経験し、個人性というものを現しています。

　もし多くの痛みを避けることができるのなら、なぜ進化成長のプロセスにおいて痛みを経験しなければいけないのでしょうか？唯一の理由はあなたの内側に多くの個人的体験を蓄え、それらを最終的にスピリット・モナドセルフに提供することです。そしてスピリット・モナドセルフがロゴスとしてそれ自身の一部を投射する時…それが惑星ロゴスであれ、太陽系ロゴスであれ、または銀河系ロゴスその他であれ…そして一つの惑星または他のシステムを管轄するとき、その体験を把握するために他のモナドセルフと同化する必要はありません。なぜなら、それはすでに体験として貯蔵されているからです。

　結局、前にも説明しましたが、惑星ロゴスはいつもその惑星上の現在のパーソナリティーの一人一人に同調しています。それを想像できますか？同調し、また惑星ロゴスはその惑星上の全ての物理的現象を引き起こします：雨、風、そして何であれ惑星上の人間に関係することを。そして同時に、一人残らず全ての現在のパーソナリティーに同調しています、それはまた全ての現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークに同調するということです。ですから、それは全ての人の内側における原因結果の法則に同調するということです。

　それが“時間”が与えられる唯一の理由です、その結果その現在のパーソナリティーが多くの転生を重ねることができるように。例え2番目のサイクルにおいて、その個人性が現されていても。1番目のサイクルとは言いません、しかし2番目のサイクルの中ではその現在のパーソナリティーは個人性を現すことができます。

Q：あなたは自己実現した現在のパーソナリティーはロゴス的本質のあるエレメンタルを物質化することができる、と言いました。私は人間だけがロゴス的現れを持つことができ、それ以外は聖霊的であると思っていたのですが。

K：私が意味したことは、それらのエレメンタルはアークエンジェル的なエレメンタルとは異なるということです、それらがロゴス的現れをもつという意味で。

Q：それは動物にも考える能力が与えられるということですか？

K：そうです、なぜならそれは意識の拡大となるからです、そしてそのような現れは時の流れにおいてありました。勿論、それらは特定の目的のために創造されたので、ひとたびその目的が達成されれば、自動的にそれらは戻ります。それらは意識の拡大です。

　それらのエレメンタルがLifeの息吹の結果であるか否かと言えば、答えはイエスです。あなた方は動物の身体を物質化し、あなたの息吹の結果としてそれに生命を与えることができ、それは異なった現れです。しかし、プログラムされた仕事を行うそれらのエレメンタルがあります。それらは考えることはせず、それらを現し、物質化した人の意識を完全に現すことはありません；それらはプログラムされた仕事を行うのです。

Page5,

 古代において、ある人々は創造エーテルに関して混乱し、サイコノエティカル的成長あるいはつまり自己実現の結果としてではなく、思考を使ってそのようなエレメンタルを創造しました。そした彼等は一般に自分達を守るために、または使用人としてそれらを利用したのです。犬の姿が見えないのに、犬が吠えているのを聞いたり；犬という姿が見えないのに犬が誰かに噛みつくということがあります。しかし、そのようなことは過去にあったことであり、もはやそのようなことは行われません。今でも地球上には、そのような能力の結果として、それらのエレメンタルの中のいくつかが存在しており、それらは今でも多くの害を与えています。

　また、特定のほら穴、または墓、または何であれ彼等の目的のために、人間がそこに侵入することを許さない存在がいますが、それらは現在はエネルギーが失われて不活性の状態になっています。

Q：特定の人数の人々が一つの惑星に住むであろう時、それは特定の数の人間がある種のエーテルの姿で存在しているのですか、それともそれらは単に数字だけですか？

K：ノー、単なる数字ではありません。彼等はサイコノエティカル界で自分達を現し始めますが、最初はLifeの本質を完全に現します。

　そのようなステートにおいては、創造される前には、あるいはその惑星が物質化される前には、時間・空間の意味は存在しません。なぜなら、実際、起きるのは物質化だからです。科学者達が話しているビッグバンとは物質化のことです。それ以前は、Lifeのスパークは元型であるイデアフォームと原因の法則のなかにあり、魂としてそれらはまだ表現、投射されていません。ですから、ある惑星に生まれる人々にとって、まず惑星が築かれる、物質化される必要があります。しかし、それは人々がどこかにいて、その惑星を待っているということではありません。

　その惑星は特定の数のために築かれます。どの数ですか？どのスパークかというように特定されているわけではありません。なぜなら、最初は、全ての現れは同じであり、そこに差別はありません。なぜなら、それらはまったく同じだからです。そしてある特定の数がその惑星とつながり、そしてその特定の数はサイコノエティカル界または物質界における数です。

Q：エーテル界および物質界の間にあるステート、そこには、イデアには特定のサブスタンス（＊実体）があるのでしょうか？

K：ノー、ノーそのようなものはありません；そしてなぜそのようなものがないのでしょうか？なぜなら、“以前は”Lifeに、あるいはこのプロセスにいかなる意味もなかったからです、スピリット・セルフからの微細なスパーク（＊火花）が魂のセルフエピグノシスとして創造の諸世界に入るためにです。そして現在のパーソナリティーを活性化するために、魂からスパークが再び実存の諸世界に入ります。なぜなら、実際それは全て一瞬の間であり、時間というものはなかったからです。

Q：基本的に、物質界に降りてくる間の時間について話しているのです、物質化していなかったと言われる最初のレムリア時代についてです。

K：ノー、彼等は物質化していました。全ては一瞬の内に行われました。最初人間にはいかなる性別もなかったと言う時、その理由は最初は彼は同時にアダムとイブとしてサイコノエティカル界にいたからです。この発言は学ぶという目的のためのものです。全てはそのように、火花のようにあっと言う間に起きました。

Q：しかし、惑星がスタートした時、惑星上に物質化して人間がそこに住み始めた時、全てが瞬間的に生じたわけではありません。

K：最初からある一定数の人間は物質化されました；2人の人間だけが物質化され、その後人間の数がゆっくりと増えていった、と創世記に書かれているようにものごとが進んだわけではありません。そのように説明されていますが、その理由は人間が本当にLifeのリアリティーを知らないからです。そしてどのようにして人間が惑星上で増えていったかを理解するために、彼等はこのように話したのです。結局、Lifeのスピードは想像を越えたものです。学ぶ目的のために、私たちはそれを時間・空間のなかで計り、その動きを出来る限り分析します、また私たちは長い長い時を経て、例えば気候状態も変わり、そしてそれゆえに私たちは新しい予言にもパニックにならないのです。私たちがサイクルに従うので。

Q：人間は始めて物質化した時、彼等は自動的に本能的ステートにいたのですか、彼等は1番目のサイクルにいたのですか？

K：動物に非常に近い状態でした、彼等は二元性を現すこともなく、想念の動きが徐々にゆっくりと生じるようになりました。しかし、例外がありました；サイコノエティカル的に高く進化していた人間が一定数いたのです。それらの人々は人間を導くために他の惑星から来たのです。

私たちの太陽系のなかにある自己実現した惑星からやってきたのです。そしてその惑星は今でもこの太陽系のなかに存在します。なぜなら、惑星のシステムは全体が一緒に非物質化するのであり、惑星が別々に非物質化するのではないからです。

　ある人々はシリウスを強調していますが、しかしそれは太陽系であり、それは単なる一つの惑星ではありません。それは私たちの太陽とつながりがあるのです。私たちの銀河は勿論天の川です。

エクササイズ　PYR 58 No.1

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身を見て、そして自分の形の境界を感じます…

　今、自分自身を視覚化し、あなたの前にはあなたと同一のあなた自身が立っているのを視覚化します、非常に良い健康状態です…あなたの前に立っているあなたはとても幸せで、笑顔を浮かべています…あなたの前に立っているあなたはエネルギーに溢れ、笑顔を浮かべ、アガピを放っています…あなたの前に立っているそのあなた自身は、非常に健康で、幸せで、あらゆる方向にアガピを放射しているのがわかります、太陽のようにアガピを放っています…あなたの前に立っているそのあなたの同一体に大きな笑顔を送ります…

　それでは深くて快適な呼吸を始めます…自分の呼吸を感じます、そしてその呼吸はとても快適です…あなたの状態が、あなたの前に立っているあなたの同一体とまったく同じように幸せで、全体的に良い健康状態にあることを願います…

　それではあなたが目の前に視覚化したあなたの同一体があなたの中に入り、あなたの現在のパーソナリティー全体に良い健康、その同一体と同じような状態をあなた全体に与えてくれるのを見ます…

　今この同一体があなたのなかに入り、即座にあなたは自分がエネルギーに溢れ、幸せで、アガピに触れているのを感じます…あなたは太陽のようにあらゆる方向にアガピを放っているのを感じます…そしてあなたのアガピで同胞の人間達を抱きしめます…

　あなたは穏やかですが、同時に助ける用意ができています…自分の中に幸せを感じ、この健康と幸せな状態がいつもあなたと共にあることを、何ものもあなたのこの幸せな状態、そしてよい健康状態の邪魔をしないことを願います…

　あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います…アガピと最愛のお方の祝福があなたと共に、あなたの愛する人々と共に、そしてあなたの家庭に、そして世界全体にあることを願います…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

以前、他の同胞の人間達を助けるために似たようなエクササイズを与えました。もし誰かが痛みと共にあるのを見たら、あなたはそれらのエクササイズでその人と完全に同じような同一体を築き、その同一体が毎日の生活を何も問題がなく、良い健康状態の中で笑顔と共に幸せに生きているのを視覚化し、最後にその同一体がその人の中に入っていくようにさせ、その特定の相手の結果を見ます：その特定の相手があなたが築いた同一体によって影響を受けて良い状態になるようにします。同じようにして、あなた自身をも助けることができ、効果を得ることができます。

　もしあなたが本当にエクササイズで述べたやり方で自分自身を視覚化することができ、あなたの視覚化が非常に強く、自分自身の内側に同一体を入れることができれば、あなたは即座に違いを感じることでしょう。それはあなた自身を静め、落ち着かせる助けとなるでしょう；それはあなたに幸せな感覚をもたらし、何ものも2つの小さなエゴのなかのより大きな方の正しい思考を邪魔することができなくなります。つまり、あなたは自分の気づきの真のレベルを現すことでしょう。

EREVNA PYR 58 KE07 D05/06